

平成22年11月24日 第5回CSR委員会

平成26年 1月20日 第44回CSR委員会

## 産業医学振興財団のCSR方針

産業医学振興財団(以下「財団」という。)は、産業医学の実践を担う人々の十分な確保と専門的能力の高度化に寄与するとともに、事業者などへの啓発活動を通じて、労働者の健康確保に大きく貢献することを目標とします。

財団は、CSRの理念に基づき、誠実な法人運営に努めます。すなわち、CSRの理念を現実化する活動により、全てのステークホルダーの納得と満足を最大限に追求します。また、それによって財団の真価を発揮し、将来にわたって発展することを目指します。

これらを具体化するために、財団及び職員は以下の事項を実践します。

- 1 財団が担う責任及び目標とする社会的貢献を常に強く意識し、事業の改善と新事業への挑戦を続けること。
- 2 産業保健を基礎として、働く人々の健康を守る全ての知識・技術を包含する産業医学の理解とその振興に努めること。
- 3 受益者本位の事業の推進に努め、感動と共感をもって受け止められるようなサービスや情報の提供を目指すこと。
- 4 35年を超える実績とノウハウの蓄積によって得た事業推進力の特徴を認識し、さらに高めること。
- 5 コンプライアンスを基礎として運営すること。
- 6 全てのステークホルダーとの真摯なコミュニケーションの構築を図ること。
- 7 情報公開を推進し、事業の透明性の確保に努めること。